

ゴール6：安全な水とトイレを世界中に

令和3年度
大阪府SDGsビジネス創出支援事業
SDGsビジネスマップ

未活用農産物の原料化プラットフォーム



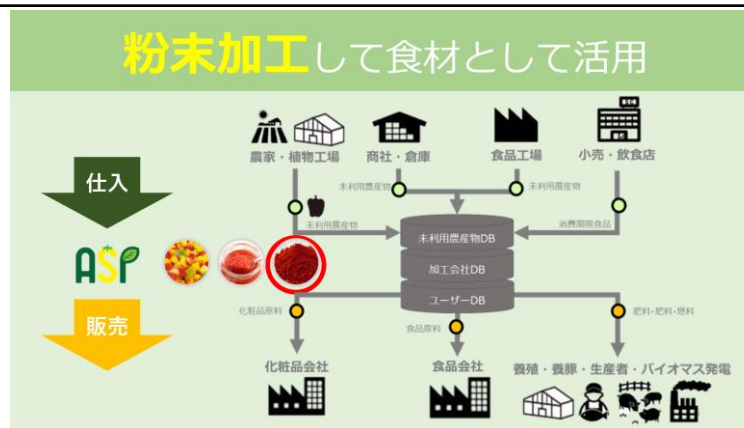
企業名	株式会社エーエスピー		
所在地	吹田市	資本金	4,000千円
設立	2018年2月26日	従業員数	3名
企業URL	https://www.agrisp.jp/		
事業内容	農産物安定供給、未利用農産物原料化、出荷調整・鮮度保持、グリーンヘルスケア		

SDGsビジネスを始めたきっかけ

フードロスに加え、食べるには問題ないもののサイズや傷など外観上の理由により廃棄されている。このような『未活用農産物』も外観の問題がなくなるよう加工して食品原料化し、付加価値を高め、食品として活用することで生産者の収益向上と環境負荷低減をしながら食料自給率をアップさせようと考えた。

SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

- 農家や植物工場、商社、加工会社等から未利用食材を仕入れ、粉末加工として販売を行う。
- 未活用農産物を有効活用し、フードロス削減を実現する仕組みづくりを行う。



SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

日本には京都のおばんざいのように無駄なく使い切る食文化が根付いています。これを継承しながら、「見映えと機能性」を生かした新しい食材を普及し、食料自給率を上げるだけでなく、日本を代表するSDG s フードとして大阪万博にて世界へ発信していきます。

粉末食材として新しい食文化を定着することで食料自給率のアップと環境負荷の低減に貢献します。また長期保管できる食材として豊作時などで廃棄されていたものも備蓄食として安定供給され、フードロスや規格外品という言葉が無い社会を作ります。

OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

補助金事業を通じて、今回取り組んだ6市町村以外の地域からの相談も増え、来年度は倍の地域での取り組みに発展していきます。また今回試作した原料から採用したい企業が複数出たことBtoBtoCの座組で具体的な商品企画が複数生まれました。

今後はミールキットや料理人と連携したワークショップや料理教室による「粉」食材の認知度向上を進めながら、大阪万博に向けて日本発のSDG s フードとしてのコンテンツを増やしていきながら、海外展開に向けた準備も進めていきます。

プラットフォーム事業として連携先企業も増えてきましたが、独自の商品開発や共同研究などのプロジェクトも増えてきたため、研究所の設立と組織づくりにも力を入れるため、資金調達を行い、企業力アップを図ります。